

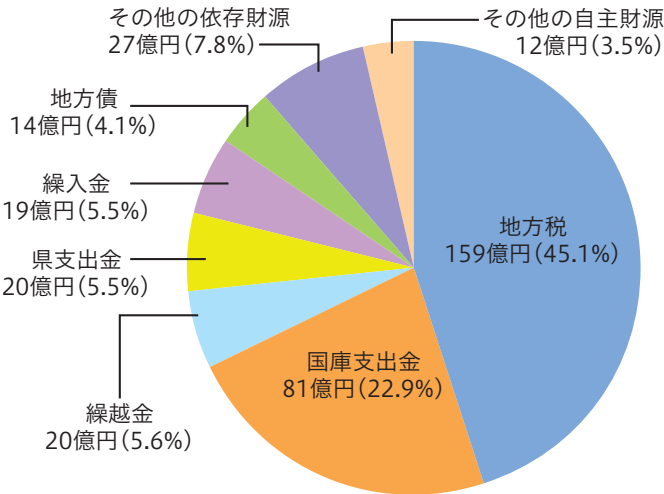
令和3年度の決算状況を報告します(一般会計)

財政課
財政担当
☎424-9100

決算とは、4月1日～翌年3月31日(5月31日まで出納整理期間)の1年間にどれだけの収入があり、それがどのように使われたかを分類して集計したものです。

歳入総額

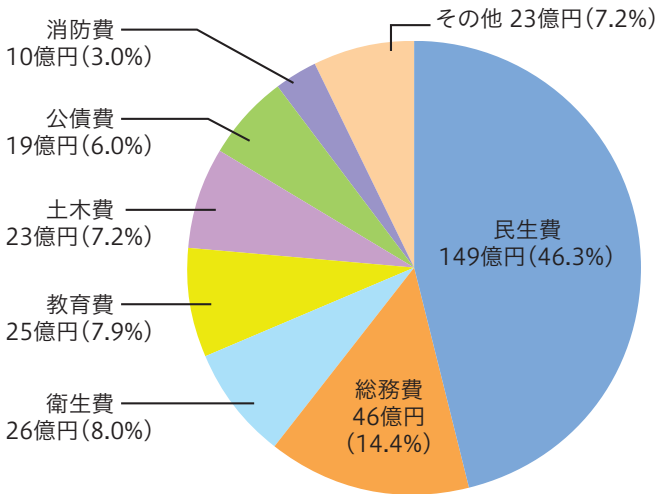
352億5,652万1千円(前年度比13.4%減)



()内は構成比

歳出総額

321億1,718万2千円(前年度比17.1%減)



()内は構成比

各項目は億円未満を四捨五入していますので、合計と総額が一致しない場合があります。

財政指標(普通会計)

指標			指標 (赤字比率、資金不足比率が生じていないため「-」と記載)		
財政力指数	3か年平均	1.052	健全化判断 比率	実質赤字比率	-
	単年度	0.987		連結実質赤字比率	-
経常収支比率	89.2%			実質公債費比率	4.0
				将来負担比率	37.5
地方債現在高	183億8,254万6千円 (介護サービス事業分含む)			●国が定める基準を下 回っており、健全な 数値となっています	
積立金現在高 (うち財政調整基金)	25億9,893万2千円 (18億5,421万円)		資金不足 比率	水道事業会計	-
				下水道事業会計	-

●和光市では、一般会計と駅北口特別会計が普通会計に該当します

主な増減理由

【歳入について】

令和3年度歳入決算額は、前年度から54億6,629万円減少しています。
主な減少要因として、国庫支出金において、特別定額給付金給付事業に係る補助金が無くなった(約84.6億円減)ことなどにより約65億円減少しました。地方債では、土地区画整理組合活動支援事業債が無くなったことなどにより約5億円減少しました。一方で増加要因として、地方税において、都市計画税の税率変更などにより約3億円増加しました。また、地方消費税交付金、地方交付税の増加などによりその他の依存財源が約6億円増加しました。

【歳出について】

令和3年度歳出決算額は、前年度から66億1,704万3千円減少しています。
主な減少要因として、民生費において、特別定額給付金が無くなった(約84.6億円減)ことなどにより約72億円減少しました。土木費では、組合土地区画整理事業支援費が減少したことなどにより約11億円減少しました。一方で増加要因として、総務費において、広沢複合施設整備事業の進展などにより約12億円増加しました。また、衛生費では新型コロナウイルスワクチン接種費用などにより約8億円増加しました。

市税の納期内納付にご協力ください

☎ 収納課 徴収担当 ☎424-9105・滞納債権整理担当 ☎424-9106

市税は私たちの暮らしを支える様々な施策の貴重な財源であり、定められた期限までに自主的に納めていただくものです。納期内納付へのご協力をお願いします。

10～12月は市税等の滞納整理強化期間です。納期を過ぎて納付・相談が無い方に対しては、滞納処分により強制的な徴収をおこないます。

■税金を滞納すると…

税金を納期限までに納めなかった場合は、本来納めるべき税金の他に延滞金が加算されます。また、滞納したままの状態が続くと、税負担の公平性を確保するため、差押により強制的に徴収することになります。

「少しの滞納なら問題ない」「払える時に払えばいいだろう」などと安易に判断することなく、早急に税金の納付又は納税相談を受けるようにしてください。

■スマートフォンを使った納付サービスの開始

市では「LINEPay」「モバイルレジ」「PayPay」「d払い」「auPAY」「PayB」「Jcoin」といった、スマートフォンのアプリから市税等を納付することができます。詳しくは市HPをご覧ください。

【利用できる税目】 ●市県民税(普通徴収) ●固定資産税・都市計画税 ●軽自動車税 ●国民健康保険税

期限までに納められない方は必ず早めに納税相談を！
平日開庁時には、いつでも納税相談を行っています。

夜間・休日
【納税相談窓口】 ●毎月第2木曜日 17:15～19:00
●第3土曜日 8:30～12:00



おるご～る No. 215

☎ 総務人権課 庶務・人権担当
☎424-9094

誰もが持つ『ジェンダーバイアス (性別による無意識の思い込み)』

わこうプラン推進委員
土田 那津子

突然ですがクイズです。お父さんと息子が交通事故で重体、すぐさま病院へ運ばれました。敏腕外科医が男の子を見て一言「この子は私の息子だ。執刀できない」。この外科医と男の子の関係は？正解はお母さんと息子。このクイズに引っかかった私は、あらためて自分が「外科医＝男性」という無意識のジェンダーバイアスを持っていることに気づきました。

「男は仕事、女は家庭」など性別役割意識をはじめとする根強いジェンダーバイアスは、女性活躍を阻む要因とされています。女性は育児をするからという理由で育成や能力開発の機会が得にくく、結果的に昇進に結び付かないとい

うケースはよく知られています。また最近では、男性が本当は育児や介護で時短勤務制度や休職を取りたいが、職場に言い出せないという悩むケースが増えていると言われています。本人の希望や能力に関わらず、性別を理由に長時間労働を強いたり、キャリア開発を閉ざしたりする社会に希望を見出すことができるでしょうか？

一人ひとりが個性を活かし、輝ける社会をつくるための第一歩は、自分が持つ無意識のジェンダーバイアスに気づき、みんなで取り除いていくことだと、冒頭の問題をきっかけに思いました。